



# 仁淀川町議会だより

2026.1 第82号

令和7年  
仁淀川町議会 会議録



<b>11月臨時会</b>	
議案の審議 そこが聞きたいQ&A(11月臨時会) .....	3P~4P
<b>12月定例会</b>	
一般質問(5人が登壇) .....	5P~9P
議案の審議 そこが聞きたいQ&A(12月定例会) .....	10P~13P
<b>12月臨時会</b>	
議案の審議 そこが聞きたいQ&A(12月臨時会) .....	14P~15P

意見交換会

高知県仁淀川町議会

☎ 0889(35) 1081 / ☎ (35)0575 / 発行人：議長 大野 弘 / 編集：議会だより特別委員会 / 印刷：(株)高知新聞総合印刷





片岡町長

## 令和7年12月2日

## 【合併20周年記念事業】

10月26日、旧吾川中学校体育館で合併20周年記念式典を開催し、行政・教育・福祉・医療などで長年ご貢献いただいた7人・5団体の皆さんを表彰しました。これまでの歩みに感謝するとともに、今後のまちづくりへとつなげる契機といたしました。

また、同日には庁舎駐車場で感謝祭やアトラクションを行い、町内外から約400人が来場し、大変盛況となりました。

## 【秋の叙勲】

元仁淀川町議会議員・藤原陽三氏が「旭日双光章」を受章されました。長年にわたり吾川村・仁淀川町の発展に尽力された功績が高く評価されたものです。心からお祝い申し上げます。

## 【職員採用】

一般行政職14人の応募があり、1次試験受験者12人のうち5人が合格。続く2次試験を経て3人を採用予定としました。

## 【大崎診療所の充実】

1月から高知県医療再生機構の支援により、心臓エコーを実施できる専門技師を配置します。心臓疾患の検査・診断を町内で完結できるように、必要な場合は専門病院への紹介も迅速に行える体制が整いました。

## 【教育関係】

10月1日から教育長が不在となっておりますが、令和8年4月1日付で新教育長を任命できるよう調整を進めています。候補者は現在県内の校長職にあり、卒業式までは職責を果たしたい意向を尊重し、3月定例会で同意案件を提出予定です。それまでの間は教育委員会事務局と連携し、行政運営に支障のないよう対応してまいります。

## 教育委員会行政報告要旨

## 【教育委員会の状況】

令和7年10月1日から教育長不在となり、3人体制となっております。

現在は佃和仁教育委員が教育長職務代理者として会を代表しています。

教育長の不在について教育委員会としては、町長が望まれる方が選任されることとが良く考えますが、教育行政の空白を考えると早く選任されることが望ましいと考えます。学校再編など重要な教育問題が山積する中、町の教育行政のトップである教育長の同意人事案件が9月議会定例会だけでなく12月議会定例会にも上程されないことは非常に残念です。このことについて、町長は町民に対し、説明されることを望みます。

## 【子ども議会】

10月22日には、議会の協力を得て、子ども議会を開催することができました。当日は、仁淀中学校、池川中学校からそれぞれ5人の子ども議員が、地域の課題について質問をしました。貴重な体験ができてよかつ

たとの報告を受けています。こうして、町内の子どもたちが自分たちの周りの地域社会に関心を持ち、主体的に関わる意識が、将来にわたって、育ってくれることを期待しています。

## 【はたちのつどい】

役場本庁1階多目的ホールにおいて、1月2日に実施する予定です。対象者は20歳の方とし、32人中26人の参加予定となっております。



はたちのつどい

11月  
臨時

## 議案および議決結果

## 議員各位が賛否表明

件名及び提案理由	議決結果
令和 7 年度仁淀川町一般会計補正予算（第 3 号）について ※令和 7 年度仁淀川町一般会計補正予算（第 3 号）を定めるもの	全員賛成
令和 7 年度 7 災第 1 号町道安居溪谷線道路災害復旧工事請負契約の締結について ※令和 7 年度 7 災第 1 号町道安居溪谷線道路災害復旧工事の予定価格が5,000万円以上であるため、契約に際して議会の議決を求めるもの	全員賛成

議案の審議そこが聞きたい  
— 第 5 回（11月）臨時会 —Q  
&  
A

■令和 7 年度仁淀川町一般会計補正予算（第 3 号）について

問 若藤議員

旧大崎小体育館跡地の駐車場整備について地元の方々が随分あつたと聞いているが、地元の了解は得られたのか。

答 大石総務課長

アスベストが広範囲に含有されている。耐震性がなく倒壊すればアスベストの飛散は免れないと説明し解体の賛成をしていた。今後の活用については、駐車場整備が基本にはなるが地元の意見を聞き対応していく。

問 若藤議員

解体するとしても地元と話合せて住民も使えるように整備をしていただきたい。

答 片岡町長

今後取り壊しや、いろいろな施設の整備については地元の皆さんと一緒に協議しながら予算化として進めていく。

ていきたい。

問 藤原議員

元々学校用地として活用するために寄附をしていたと聞く。職員間で経緯の共有はしっかりしていただきたい。

リーディング事業の地域課題解決魅力化への調査の説明を受けたが、どう調査をするのか。

答 大石総務課長

寄附をされた土地であることは知らなかった。40年以上前のことになるかと思うが、なるべく記録にとどめて情報共有はしていきたい。

答 片岡町長

・町づくりを自ら考え行動する高齢者の育成。  
・住民の移動支援・視察の受け入れや勉強会の実施。  
・外貨を稼ぐ滞在型観光の企画実施検証。

・住民と行政がともに描くコミュニティハブの在り方と導入の課題を検討していく。

問 竹本議員

リーディング事業の説明を町長から一回受けたが、事前に全員協議会で詳しい説明をした上で上程をすべきではないか。

答 片岡町長

国から今年度第三次要望というのがあり、同時期に徳島県上勝町も同じく採択を受けている。本来なら全員協議会で説明すればよかったが、令和 7 年度末が締め切りとなっている。

問 竹本議員

地域住民も含めた事業に対する理解度によって成果が違ってくる。事前に詳しい説明をするべきだ。

答 片岡町長

県中山間対策課、長寿社会課、NPO フレイルサポート仁淀川（社）医療経済研究機構が構成員として行う。住民皆さんに展開する必要がある、丁寧に説明していきたい。

問 大野（直）議員

リーディング事業は本町



を越えた事業であるか。

答 片岡町長

県も今後事業展開するにあたり、観光資源の見直しや、観光バスのタイアップなどいろいろな仕組みが考

えられている。調査で一定の検証をし、国に報告していく。

問 野村議員

土居川上流で観光客がアクティビティをしているが



旧大崎小学校体育館

トイレがなく明戸岩が非常に衛生上悪いという話が出ている。

答 井上池川支所長

アクティビティ業者の関係ではないかと思い、現地を確認したが、事実確認はできなかった。簡易トイレなどを業者で構えてもらい、衛生上住民が不安にならないよう指導する。

■令和7年度7災第1号町道安居溪谷線道路災害復旧工事請負契約の締結について

問 竹本議員

最初の入札公告は業者のP点が最低650点となっていたが、今回の入札公告は500点以上となっている。なぜか。

答 片岡町長

親がしっかりしている業者であれば、500点以上で参加し、ある一定技術を学ぶ機会をと思いい点を下げた。

問 藤崎議員

この入札が取り消しになる前から現在に至るまでの流れを見て、慎重さが足りないと思う。説明を。

答 大石総務課長

受注機会の確保理由と、技術力の向上が見込めるということを考え、町長と共に改正を行った。

問 藤崎議員

この工事はほとんどアンカー工であり、専門的な分野に入る。入札公告を出すときに、慎重な手順を踏んで行うべき。

問 竹本議員

工事が安全に仕上がるかどうかを考えたときに、経験のある評価点の高い会社と絞って入札をさせるべきだ。8億円をかけ、ずさんな工事になれば大きな問題となる。

答 片岡町長

今後の発注については慎重にする。

問 若藤議員

最低制限価格について現在90%で統一されていると思う。工事内容によって変動させるべきではないか。

また、発注時の工事価格については非公開にしてはどうか。

答 片岡町長

最低制限価格を85%にすることも検討したが、近年の入札記録を見たらやはり抽選が多い状況。裏を返せばそれくらい仕事がない状況であるのではないかと推測した。

# 一般質問 5 人が登壇 町政にズバリ！

## 目的

- \* 行政の現状や課題を把握し、その適正性をチェックする。
- \* 住民の声を代弁し、行政に意見や要望を伝える。
- \* 政策を提案し、行政の改善を促す。
- \* 質問と答弁を通じて、行政情報を公開し、住民の理解を深める。

## 一般質問

仁淀川町内に学習塾  
開設の準備について  
答 運営開校目指し準備する



問 片岡智準議員  
かたおか ちのり

過疎少子化現象の一端に  
学習塾の不存在があるので  
はないか。

子ども人口の町外流出を  
阻止し、人材を育成する仁  
淀川町直営による学習塾開  
設を検討してみてもどうか。

答 片岡町長

教育は、将来の地域を支  
える最も重要な基盤であ  
る。子どもたちが学びを通  
じて、自ら人生を切り開き、  
多様な生きる力を育むこと  
が、これまで以上に求めら  
れている。

「学びの町」の実現に向  
け、本町では、保育所、こ

ども園、小・中学校まで地  
域と心が合わさった感じの  
徳育、体育バランスのある  
発達を町全体で支えていく  
必要があります。学習塾開  
設にあたっては、さまざま  
な課題があることも認識し  
ており、幅広く意見を伺い、  
子どもたちの未来のため全  
力で取り組む。

問 片岡

私が提案する「学習塾」  
は世間一般の学習塾とは少  
し異にするものですが、町  
長の説明した塾も絶対に進  
めてほしい。塾の内容は当  
分の間読書を中心とし、速  
読の能力をつける。本を読  
み終わると、読書ノートに  
「題名、簡単な印象」を書  
くだけでいい。学校の本も  
同じ要領で読み、学校教育  
と並行して行えるので学力  
低下の心配はない。

答 町長

速読は国語力を高め非常  
に重要ということで英語力  
も必然的につくという結果  
が出ております。来年度中  
の塾設置に向けて取り組ん  
でいる。

問 片岡

世の中は図書室をなくす  
か縮小する方向に動いてい  
ます。読書する方が少なく  
なり、スマホゲームに夢中  
になるなど、まさに日本全  
体で危機的状況となってい  
ます。本町の子どもたちが  
「本塾」に参加するかは分  
かりませんが、子ども・親  
世代にどれだけ理解を得ら  
れるかによって「開設」継  
続かが決まります。

答 町長

私としては子どもたち  
に「学びのスイッチ」を入  
れるタイミングを考えてお  
り、今後はさまざまな学習  
方法を取り入れ進めていき  
たい。

答 吉川教育次長

図書室では、年々蔵書購  
入費を増額し、学校では多  
くの本を読むことで「多読  
賞」を構えるなど、積極的  
に読書の取り組みを進めて  
いる。



交流センター図書室



一般質問

フレイル予防の取り組みは



問  
おのの なたか  
大野直孝議員

フレイル予防の取り組みは。

答  
片岡町長

本町の活動は大きく二本柱で進めている。  
・健診での問診・健康教育や国保データでのハイリスク抽出を行い、保健師・栄養士などが個別支援や通いの場への参加促進を実施。  
・住民主体の活動として東大方式のフレイルチェック導入後にサポーター養成を行い(令和元年度開始、現在までに多数養成)、週2回・3カ月の運動・栄養・口腔・社会参加プログラムを実施している。

東大の研究でも介護状態になりにくい効果が示されている。これらを継続し、住民が住み慣れた地域で健やかに暮らせることを目指す。

問  
大野

特に山間部では高齢者が孤立しやすい。移動支援やオンライン参加など新しい仕組みの導入はあるか。

答  
町長

現在は大崎で月・木に実施し多くが車で来ているが、将来の運転不能や免許返納を見据え、移動手段の確保を重視し、地域交通計画を見直していく。

問  
大野

実施場所が狭いが、対応はどうするのか。

答  
町長

大崎地域集会所で短期集中総合プログラム「ハッラツ」を実施しており、年間延べ7千人超で収容を超えつつある状況。令和8年度に厚生労働省の100%補助事業を活用し、地域と協

議の上、建物改修で会場拡大を図るため、予算措置を検討している。

全国での取り組み状況は

問  
大野

全国での取り組み状況は。

答  
町長

東大方式のフレイルチェックは現在104市町村で実施されている。県内では大豊町・南国市・四十万市などが導入しており、横展開を図っている。国はフレイル予防推進の枠組みを整備しており、本町も準備会に参加して関係団体と研究・協議を進めている。  
昨年の総会でフレイル予防宣言を採択し、各自治体の健康レベルを底上げするため、啓発・普及と効果測定を全国に発信している。

乳幼児を抱えた保護者への支援は

問  
大野

乳幼児を抱えた保護者への支援は。

答  
町長

少子化対策として出産・育児期の支援を重視している。主な施策は、助産師による助言・産後ケア(訪問・通所・宿泊)、産前産後家事支援、ファミリーサポートセンターによる預かり・マッチング、緊急時の子育て短期支援の体制整備である。子育て支援センターや保育所、教育委員会、健康福祉課が連携して相談・集いの場を提供するとともに、出産応援手当、医療費無償化、健診・分娩の交通費助成など経済的負担軽減策も実施している。

問  
大野

働き方支援は。

答  
町長

本町に待機児童はなく、ファミリーサポーターによる一時預かりや、発熱時の一時送迎・預かりなどのサービスが充実している。相談体制も整備済みで、今後も住民ニーズに応じて必要なサービスや働き方支援を順次拡充していく考えである。



フレイル

## 一般質問

これまで質問してきた内容について再度確認する



問 藤原 大議員

答 執行部

① 国道33号高規格道路、越知―仁淀区間については問題の洗い出し、意見交換を繰り返している段階。

② 少子化が進む教育環境の課題として、切磋琢磨する機会が少なく、社会性や集団の一員として自覚が弱いことが指摘されている。そのため中学校統合を進めていく。

③ 地域長制度により、インフラ整備に交付金を活用し好評いただいている。未設置の地域にも引き続き制度説明を続ける。

④ 野菜加工施設からの排水による白いヘドロのよう

なものやにおいについて、対策を講じてきたが改善されず、現在は新たな過槽を設置し試運転中。

⑤ マイナンバーカードの普及率は53・3%から78%に上昇、普及促進施策の終了などにより伸び悩んでいる。マイナ保険証は10・7%から30・5%に上昇。

⑥ 災害時の対応として翌朝の積雪予想時には、担当部署の職員が6時30分から出勤している。

⑦ 産後ケア施設の共同設置などの協議には至っていない。経済的負担軽減策や、ファミリーサポート事業などにより対応。

⑧ 町内診療施設の診察状況は令和5年度2万6千790人で、令和6年度は92・2%、令和7年度予想は85・4%と減少しているが診療体制は現状を維持していきたい。

⑨ まちづくり総合計画についてはつきりと用途を区分けすることは難しいが、商店街の機能不全は問題、宮崎の河原を観光

の中心地として県のアクションプランを考えている。

⑩ 2014年に続き2024年も消滅可能性自治体という評価で2050年には町民は1千821人の予想。少しでも鈍化させるため移住、出産支援など広く取り組む。

⑪ ソーラーパネル設置のため町内施設の屋上を5カ所調査中、森林伐採などの計画はない。

⑫ 防災計画は令和6年度に更新された。簡易版の冊子を配布し住民の避難への関心を高めていく。

⑬ 指定管理や業務委託の制度は適宜見直していく必要がある。飲酒運転については規定通り指定取り消しを行った。

⑭ 責任割合5対5の事故を起こした職員の処分について、進捗は

ないが安全運転を呼び掛けていく。

⑮ 夏休み期間に中学生向け無料バスを実施し主な行先は図書館だった。好評をいただき、来年度は小学校高学年も対象に考えている。

⑯ 桜地区の人気スポットに撮影ステージを設置し、平等な観光機会の提供を狙う。

土地の登記が遅れている

答 1人増員で対応している

問 藤原

町道など、土地の登記が遅れている。世代が変わる前に完了を。

答 大石総務課長

今年度途中から1人増員で対応している。

## 政治家の寄附は禁止、有権者が求めることも禁止されています

秘書等が代理で出席する場合の結婚祝



地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入



お祭りへの寄附・差入



町内会の集会・旅行等の催物への寸志・飲食物の差入

みんなで徹底しよう  
三ない運動

贈らない!!  
求めない!!  
受け取らない!!

これらのものも、政治家の寄附禁止の対象となります。

落成式・開店祝等の花輪



お歳暮・お年賀



病気見舞



入学祝・卒業祝



葬儀の花輪・供花



秘書等が代理で出席する場合の葬儀の香典



総務省なると！選挙「寄附の禁止」

総務省 寄附の禁止

検索

(公財) 明るい選挙推進協会

明るい選挙推進協会 三ない運動

検索



## 一般質問

## NPO法人の政治、選挙活動について

〔答〕特定の候補者を応援する、選挙運動は法律上認められない



問 竹本文直議員  
たけもと ぶんちく

町長選挙において、町長は、NPO法人の全面的な支援を受け当選された。NPO法人の政治活動、選挙活動は、どこまで許されると考えるか。

答 片岡町長

NPO法人は主たる目的が政治活動でない限り、政策提言などの一定の政治的な活動は可能。ただし、特定の候補者を応援する選挙運動は、法律上認められていない。

問 竹本

特定非営利活動促進法第2条の2項2号において、

主たる目的ではない政治活動は許されるが特定の候補者を当選させる目的、または、落選させる目的の活動はできない。

来月の町議選で特定の議員を落とすという噂がグループ内にある。

答 町長

NPO法人として応援ではなく、会員が個人の判断で応援。

日本国憲法第21条の表現の自由があり、町長は、憲法の擁護義務がある。住民の方々に支持を得られる仕事をしていく。

問 竹本

町から1千500万円を超える支援金が出ている法人が、組織を挙げて首長の席を狙いにいくことに疑問を感じる。町民全体に目を向けた町政運営を求める。

答 町長

ある一つの団体のために、仕事をしようとなつては全くありません。

## 佐川高校の存続問題

〔答〕4町村と協力し存続させる

問 竹本

佐川高校の魅力化に向け、積極的に提案をしていく。関係町村がしっかり協力し、取り組む必要がある。牧野博士に関連した学科の創設などを提案する。と9月議会会で答弁されている。その後どのような提案をされたか。

答 町長

11月26日に第2回コンソーシアム会議が開催され、牧野富太郎博士に関する植物分類学科の創設について正式に提案をした。知事から「植物分類学科の新設について、関係市町村長の意見を尊重しながら検討するよう指示があった」との報告があった。

佐川町、越知町、日高村と連携し、佐川高校の魅力化に積極的に関わっていく。

問 竹本

4町村の13人の議員が、佐川高校魅力化を進める議員連盟を立ち上げ、議連としての考え方を、ワーキンググループに提言した。4町村がまとまらないと、絶対前へ進まない。

答 町長

近隣市町村長と共に、佐川高校の魅力化を積極的に進め、佐川高校存続に向けて、頑張っていく。



佐川高校



## 一般質問

**地域タクシー券  
増刷と活用方法は  
増刷と振り替え  
検討**



**問** 藤堂賢太郎議員

地域ごとの利用状況は、今の価格になって3年、病院・役場へはバス利用で次の便まで4〜5時間待たずタクシー利用になるので券は半年でなくなる。「もっと増やして」の声。近所の人々がたびたび車で送ってくれるがお金を受け取らないので限定券でなく地域流通商品券に振り替えは可能ではないか。

**答** 片岡町長

交付件数は903件で、利用枚数が9千850枚で交付率は50%、そのうち利用率も50%と低い水準なので持続可能な交通ネットワークの

再構築を進め、タクシー券の増刷や燃料代の振り替えも検討したい。タクシー券をもっと使って利用率を上げてほしい。

**国民健康保険の均等割、未就学児免除を  
現行制度上適当でない**

**問** 藤堂

国民健康保険税の均等割で未就学児を免除してほしい。特に0歳児の新生児からは免除すべき。何人で税額はいくらか聞く。国民健康保険には、ほかの保険にはない均等割の制度がある。全国知事会・全国市長会の要望で令和4年度から未就学の子どもの均等割が減免措置が取られたが子育て支援に温かい本町免除の決断を求めます。

**答** 町長

国民健康保険は



大崎診療所

すべての世帯員が一つの地区保険給付の権利があるので世帯人数に応分の均等割保険税の負担を求めている。国保制度が普通・特別・両調整交付金の補助金を受けている。国保に加入の未就学児は10月末時点で14人で町交付金維持のため本町独自の措置は現在考えてない。

**答** 井上町民課長

14人の均等割合計額は15万4千218円です。



(1) 芸能祭鑑賞記

本町ではコロナ下を除き、毎年芸能祭が開催され、多くの反響を呼んでいます。今年の会場は仁淀多目的研修集会施設で開催し大盛況、開幕から閉幕までの間に帰宅する方は少なく、舞台の幕が下りると観客はお互いに「また来年会いましょう…」など別れを惜しむ光景が毎年見られ、出演者にも達成感のような充実した気持ちを持ち合わせていただけます。

出し物は歌謡曲、寸劇、踊りなど特別なものがあるわけではありません。しかし、地域住民が一堂に会して大きな声を出し、拍手し、談笑することで、喜びや哀愁に空気が変化、地域のつながりや絆が深められ、言葉で語りつくせない感情が湧き、名残り尽きない別れの状況を目の当たりにします。

しかし、開催には会場までの送迎や出演される皆さんにはそれなりの準備が必要で大変なご苦労は掛けますが、これで地域が一つになり、個々の方の感情に刺激を与えていることに思いをはせ、来年も開催をお願いしたいと思います。

(片岡智準 記)

議員各位が賛否表明	
件名及び提案理由	議決結果
専決処分の報告について ※令和 6 年度（繰越）防災・安全交付金事業 町道家古屋岩丸線道路改良工事は請負契約の変更の結果、500 万円以下の変更契約であるため、議会の委任による町長の専決処分事項の指定についての規定により、専決処分していたものを報告するもの	報告のみ
専決処分の報告について ※物損事故に係る和解について	報告のみ
仁淀川町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について ※令和 8 年度から子ども・子育て支援法に規定する「乳児等のための支援給付」が制度化されることに伴い、本条例を制定する	全員賛成
仁淀川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について ※児童福祉法等の一部改正に伴い、本条例の一部を改正する	全員賛成
仁淀川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について ※児童福祉法等の一部改正に伴い、本条例の一部を改正する	全員賛成
仁淀川町農業集落排水事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について ※県の指導により、本条例の一部を改正する	全員賛成
仁淀川町農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部を改正する条例について ※標準下水道条例の改正により、本条例の一部を改正する	全員賛成
仁淀川町グリーンフォレストセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について ※新たな客室の増設及び近年の物価高騰に伴い料金を改定するため、本条例の一部を改正する	全員賛成
仁淀川町簡易水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について ※県の指導により、本条例の一部を改正する	全員賛成
仁淀川町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例について ※国土交通省水管理・国土保全局通知に基づき、本条例の一部を改正する	全員賛成
仁淀川町デイサービスセンター「ひなた荘」の指定管理者の指定について ※仁淀川町デイサービスセンター「ひなた荘」の指定管理を定める	全員賛成
仁淀川町集落活動センター山村自然楽校しもなの郷の指定管理者の指定について ※仁淀川町集落活動センター山村自然楽校しもなの郷の指定管理者を定めるもの	全員賛成
仁淀川町グリーンフォレストセンターの指定管理者の指定について ※仁淀川町グリーンフォレストセンターの指定管理者を定めるもの	全員賛成
仁淀川町安居溪谷森林総合利用施設の指定管理者の指定について ※仁淀川町安居溪谷森林総合利用施設の指定管理者を定めるもの	全員賛成



## 議員各位が賛否表明

件名及び提案理由	議決結果
仁淀川町池川 4 3 9 交流館の指定管理者の指定について ※仁淀川町池川 4 3 9 交流館の指定管理者を定めるもの	全員賛成
仁淀川町移住交流拠点施設の指定管理者の指定について ※仁淀川町移住交流拠点施設の指定管理者を定めるもの	全員賛成
仁淀川町観光センター等の指定管理者の指定について ※仁淀川町観光センター等の指定管理者を定めるもの	全員賛成
令和 7 年度仁淀川町一般会計補正予算（第 4 号）について ※令和 7 年度仁淀川町一般会計補正予算（第 4 号）を定めるもの	全員賛成
令和 7 年度仁淀川町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）について ※令和 7 年度仁淀川町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）を定めるもの	全員賛成
令和 7 年度仁淀川町国民健康保険直診勘定特別会計補正予算（第 1 号）について ※令和 7 年度仁淀川町国民健康保険直診勘定特別会計補正予算（第 1 号）を定めるもの	全員賛成
令和 7 年度仁淀川町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）について ※令和 7 年度仁淀川町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）を定めるもの	全員賛成
仁淀川町過疎地域持続的発展計画の変更について ※仁淀川町過疎地域持続的発展計画の内容を一部変更しようとするもの	賛成多数 反対:岡田、藤崎
令和 7 年度道路メンテナンス事業町道大崎線（川口橋）橋梁補修工事請負契約の締結について ※令和 7 年度道路メンテナンス事業町道大崎線（川口橋）橋梁補修工事の予定価格が5,000万円以上であるため、契約に際して議会の議決を求めるもの	全員賛成
財産の取得について ※令和 7 年度（町単）仁淀川町消防団小型動力ポンプ積載購入事業における財産取得費用の予定価格が700万円以上であるため、契約に際し議会の議決を求めるもの	全員賛成

## 動議

町道安居溪谷線入札等に関する調査特別委員会より議会議長への告発依頼 提案者:大野 直孝議員	賛成多数 反対:藤堂、竹本 退席:藤原
--	---------------------------

※読後、議会だよりに対するご意見、ご感想をお寄せください

（仁淀川町議会事務局）☎0889-35-1081

☎781-1592 吾川郡仁淀川町大崎200番地

※メールアドレス gikai@town.niyodogawa.lg.jp

※議会を傍聴しませんか

（日程は、防災無線などでお知らせいたします）

## 第6回12月定例会

## Q &amp; A

## 議案の審議

そこが聞きたいQ &amp; A

ー第6回(12月)定例会ー

■専決処分の報告について(物損事故に関する和解について)

問 藤原議員

以前にも秋葉の宿で除草作業中に車の窓を割る事故があったが、そのときから何か対策を講じていないのか。

答 大石総務課長

細心の注意を払うようにその都度注意をしている。職員に対しても安全第一で作業するように伝えている。飛散防止対策を今後行う。

■仁淀川町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について

問 片岡議員

園児をバスの中に置いた事故を背景にできた条例だと思うが、調査権が県職員だけで町職員にはできない印象を受けたが。

答 吉川教育次長

『こども誰でも通園制度』を運用するための条例である。町では、バス通園を公共ではやっておらず、施設の安全についても適切に県の指導なども受けながら行っている。

問 竹本議員

親が仕事に出ており家庭では子どもを見ることができない方を対象にしている。今の保育制度を撤廃し、自営業でも専業主婦でも子どもが通園できる制度改正だと思う。

町内に対象児童・幼児は何人か。

答 吉川教育次長

具体的には把握していないが通園していない幼児は0歳〜6歳の各年代1人〜2人くらいいると思う。毎年5歳・6歳の年長組はほぼ全員通園している。

■仁淀川町グリーンフォレストセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

問 藤原議員

ゆの森の宿泊料金について

て、指定管理者が自由に金額を設定できるように、大幅に引き上げてはどうか。

答 荒木企画振興課長

あくまでも限度額であり、この範囲内で決めている。ただ、物価高騰もあるが、近隣市町村の同じようなタイプのホテルなどを参考にし、総合的に判断した。

■仁淀川町デイサービスセンター「ひなた荘」の指定管理者の指定について

問 藤原議員

8件の指定管理者の指定について、複数応募された施設があったか。

答 大石総務課長

今回提案されている指定管理施設については、すべて非公募としているので1社のみとなっている。

問 竹本議員

バス事業も11月のプロポーザルで審議されたと思うが、議案として上がっていないのはなぜか。

答 大石総務課長

二つのバス事業については、指定管理選定審議会では協議していただいたが、答申を上げた段階で町長から再度専門家の意見も聞きたいという指摘があった。再度専門家を集め、審議会を行う。

問 竹本議員

こんなことは初めてだ。なぜ専門家の意見を聞かなければならないのか。

答 片岡町長

町民バス・スクールバス、コミュニティバスそれぞれ1JVと1法人から提案があった。安全第一と考え、専門家の意見を聞きたく私の判断で、2回目の審議会を開くように指示をした。

問 竹本議員

専門家の意見が必要な内容であれば11月の最初の審議会までにその判断をすべきではないか。いったんプロポーザルをして後でやり直すのは不信感がある。

答 片岡町長

次回以降バスについては審議会は地域交通に精通さ

れた方を、他の指定管理とは分けて委員を指名しようと考えている。

問 若藤議員

審議会の答申が安全性に関して納得がいけないことは、町長がはっきり言わないといけない。

答 片岡町長

現在進行形の審議会である。安全性に係る部分の検討が必要と考え第2回審議会をお願いした。

■令和7年度仁淀川町一般会計補正予算(第4号)について

問 野村議員

竹ノ谷のスタッドハウス5棟の件だが、谷側の擁壁部分の安全性を確認し、1億5千万円のお金を投資するので十分に基礎工事をお願いしたい。

答 片岡町長

十分に補強はしているが、建築についてはボーリング調査は必要であり、それに応じて基礎の高さなどを設定する必要がある。台



風などで崩れることのないように留意する。

問 野村議員

池川体育館が雨漏りしているようだが、確認はしたのか。

答 吉川教育次長

一昨年度から、非常に体育館の状態が悪く、業者の方に見積もりも依頼したが、金額の方も大きく、今は軽微な修繕に留まっている。事業費が大きい中で町の単独事業として行うのが難しい。有利な国の制度がないか考えている。

問 竹本議員

「大雨のときに雨が結構入ってきている。それだけでもなんとかしてほしい。そうしないと余計に傷む」とのこと。ぜひ子ども議会の見解を尊重してほしい。

答 片岡町長

11月末の総合教育会議でも指摘を受けた。何らかの対策をする。

問 藤原議員

トイレカーの購入事業の主な使用目的は何か。

池川ふれあい公園の遊具3千万円。維持管理コストがかからない遊具にしてもいい。

答 大石総務課長

トイレカーは軽四で大便器2基。基本的には防災対策、通常時は観光をメインに使いたいと考えている。特定の業者のためではない。

答 井上総合支所長

現在設置されている遊具四つをすべて撤去し、幼児が遊べる遊具も増やし年齢層も幅広く利用できる遊具を設置したい。

○仁淀川町過疎地域持続的発展計画の変更について

《質疑なし》

討論

《反対》岡田議員

私は一貫して小中一貫校を提案してきた。10年後必ず子どもが増える可能性はない。保護者の方々は、子どもの教育を第一に考えており、将来小中一貫を望んでいる。

《賛成》竹本議員

池川と仁淀に学校がなくなれば地域が衰退すること大きな理由である。昨年の出生数は10年前と多少の増減はあるが、それほど変わっていない。旧町村の中心地には学校が一つずつあるべきと私は思っている。中学校の統合はやむを得ないが、小学校は現状のまま残すことに賛成である。

《採決》

賛成多数で可決された。

《動議》

町道安居溪谷線入札等に関する調査特別委員会より議会議長への告発依頼

提案者 大野(直)議員

町道安居溪谷線入札等に関する調査特別委員会報告書を議会として承認をいただき、報告書記載の措置、高知地方検察庁または佐川警察署への告発を議決をいただきたいというもの。

質疑 藤原議員

調査委員会の資料に出てきている特定業者に、一社員として所属しており、こ

の議題については退席させていただきたい。

議長

退席を認める。

質疑 竹本議員

提案者に何うが、特別委員会には98条と100条委員会がある。なぜ100条委員会で審議しなかったのか。98条では、告発までは持っていない。町の行政管理内容についての提言はできるが、告発までできないことが私の認識である。

答 大野(直)議員

告発を前提でこの会を始めたことではないが、全部の調査は真実を解明するのは調査の目的であった。

質疑 竹本議員

入札の取り消し訂正に関する正式な回議書や決済記録が作成回覧されておらず、手続き上の過失と不透明性がある。前町長の指示で評価値が従来の700点から650点引いた評定後変更の正当性も不明である。私は、前町長だけでなく入札担当課長、建設課長にも大きな

責任があると思う。組織がきちんと機能していない。そこが一番の肝であり、一個人を告発するという問題ではないと考える。

答 若藤議員

一個人を告発するわけではない。委員会そのものの答申もすべてを弁護士に相談をして、告発文書を作っていた。なぜ100条委員会にできなかったのかということだが、告発のための100条ではないと委員長を我々は引き止めた経緯がある。

討論 なし

《採決》

賛成多数、町道安居溪谷線入札等に関する調査特別委員会より議会議長への告発依頼同議案可決。



スタッドハウスのモデルハウス  
(竹ノ谷)

12月  
臨時

# 議案および議決結果

議案の議決結果

議員各位が賛否表明	
件名及び提案理由	議決結果
仁淀川町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について ※仁淀川町議会議員の期末手当の支給率を見直すため、本条例の一部を改正するもの	全員賛成
特別職の職員等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例について ※特別職の職員等の期末手当の支給率を見直すため、本条例の一部を改正するもの	全員賛成
仁淀川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について ※人事院勧告等により、給与制度の見直しに伴う所用の措置を講じるため、本条例の一部を改正するもの	全員賛成
仁淀川町コミュニティバスの指定管理者の指定について ※仁淀川町コミュニティバスの指定管理者を定めるもの	全員賛成
仁淀川町町民バス・仁淀川町スクールバスの指定管理者の指定について ※仁淀川町町民バス・仁淀川町スクールバスの指定管理者を定めるもの	賛成少数により否決 賛成：野村、岡田、大野(直)
令和7年度仁淀川町一般会計補正予算(第5号)について ※令和7年度仁淀川町一般会計補正予算(第5号)を定めるもの	全員賛成
令和7年度仁淀川町国民健康保険直診勘定特別会計補正予算(第2号)について ※令和7年度仁淀川町国民健康保険直診勘定特別会計補正予算(第2号)を定めるもの	全員賛成

第7回12月臨時会

Q & A

議案の審議  
そこが聞きたいQ & A  
1 第7回(12月)臨時会

■仁淀川町コミュニティバスの指定管理者の指定について

問 藤原議員  
12月定例会で提案された指定管理はすべて非公募で1社の継続であるが、今回なぜ公募にしたのか。

答 片岡町長  
令和9年か10年に地域交通の再編を予定している。その際に金額などに多大な影響を及ぼすため今回公募した。

問 藤原議員  
初め指定期間が1年、継続の場合は指定期間が3年の通例であるが、令和9年度から改正であれば指定期間は、1年がいいのではなか。

答 片岡町長  
片岡町長のタイミングで再編か分らないため、あえて公募は3年間とした。9年度か10年度に代わる前提で指定管理を再度公募した。

■仁淀川町町民バス・仁淀川町スクールバスの指定管理者の指定について

問 若藤議員  
町民バス仁淀川は現在運

転手は何人確保しているのか。バス運行の実績は全くないが、審議委員会は何を基準に安全性を判断したか。

答 片岡町長  
運転手は18人予定しており、13人は確保している。うち2人は非常時に対応できる職員と聞いており、指定管理を受けたら募集を行うと確認している。

3社とも安全運転管理表彰を高知県から受けている。無事故無違反の事業所である。選定委員からは安全面についての質問はなかった。

問 若藤議員  
ダン・ミキサー車の運転とは、乗客を乗せるバス運転とは全く畑違いだと思ふ。審議委員会はこの無事故無違反を信用したが、どのような答申をしたのか。

答 片岡町長  
13人がゴールド免許保持者である。事業計画も妥当かつ事故防止と安全管理も徹底した計画が練られている。非常時にも対策がとられており、企業努力によるコスト面も考慮し運営にふさわしい団体である。

問 若藤議員  
計画に具体性がないと続いている。17年間事業を払っていても事故は起こ

る。3社のうち1社も1年あまり前に事故を起こしており、表彰が信用ならない。

答 片岡町長  
事故があったことは今初めて知った。選定審議会において申請書類に表彰の件は書かれており、ガイドラインのとおりコスト面や安全確保を重視して指定管理を町民バス仁淀川にお願いしたい。

問 岡田議員  
プロポールの金額は800万円安い。2回目の審議会は町外の者から審議委員会を選んだ結果であり私は問題ないと思うが、町長はもっと手前に議案に出すべきだった。

答 片岡町長  
1回目の選定審議会では安全について議論がなかったが、新しい業者になるのであれば4月1日から住民の皆さんに迷惑をかけない運行が必要と考え、2回目の選定審議会をするように指示した。

問 大野(直)議員  
事故の種類は、別物である。予定される運転手がこの事故を起こしたのか確認したい。

答 片岡町長  
事故に関わった方が運転手になっていくかは分からない。



問 大野(直)議員  
指定の期間が1年として慎重にするための期間であると思うが。

答 大石総務課長  
1回目、2回目のそれぞれの審議会でも新規参入者が選ばれている。1年が妥当であるとの答申。

問 片岡議員  
今回は3社のJVとなっているが、運行管理責任を決めてから出すべき案件ではないか。

答 片岡町長  
新しく法人を作る必要がある。管理者は四国運輸局の資格者がつくようになっている。

問 岡田議員  
2回慎重に審議会を行い問題ない。クリーンな政治をやってもらいたい。

答 片岡町長  
憲法擁護義務があるので、当然である。

問 竹本議員  
町内の総合的な交通体系の見直しを行う準備期間で今までどおり業者にしてみよう説明があったが間違いないか。

答 片岡町長  
地域交通の再編のため金額や路線、人員も大きく変わることも踏まえて対応で

きる業者を選定したいため選定審議会を改めて行った。指定管理の枠組みの中で公募をあえて行った。

問 竹本議員

交通体系を見直すのであれば、今までどおりの業者をお願いしてよかったのではないかと。計画額は800万円金銭が少なくないというところ」と言う岡田議員の発言にも非常に違和感を持つ。なぜ一議員がそこまで言えるのか。

答 片岡町長  
自分の判断は矛盾していない。

問 藤原議員  
バスとダンプの運行実績は違う。現在、町民バス仁淀川は会社として成立しているのか。

答 大石総務課長  
議会で可決されれば法人化に向けて早急に進めていく。

問 藤原議員  
4年前の秋葉の宿の指定管理で、法人化されている理由で否決されているが。

答 片岡町長  
議会議決後に法人格を有することとして公募をかけている。

答 大石総務課長  
町の指定管理すべてが法人ではない。しもの郷や中津観光協会は法人の登録ではなく団体である。

問 片岡議員

秋葉の宿とバスの運行管理は別物である。法人登録をし、運行管理責任者を決めておかないといけないと思うが。

答 片岡町長

30日以内に法人格を持つようにしている。法人ができたときには運行管理者などを配置するように審査会資料には書かれている。

問 藤崎議員

3年前は選定委員は6人で、今回は3人と聞いているが理由は。今回の会社の運転手は町出身者か。高齢のドライバが多くないか。免許の取得がきちんとされているか。

答 大石総務課長

3年前は慎重を期するために6人とし、今回は公募2回目なので3人とした。

答 片岡町長

町内6人、町外12人。最年長は71歳、一番多い年齢層は60歳代である。あ大型二種持ちは9人。あとは大型一種持ちである。

答 大石総務課長  
大型一種でも講習を受ければ有償運送は可能。

問 藤崎議員

町長が安全性を重視するために2回目のプロポーザルをしたが、どの点が安全性に重視されていると受け取ったのか。

答 荒木企画振興課長

事前に町長から確認しておきたいことを審査会時に業者へ伝えて委員の判断材料としてもらった。教育委員会、企画振興課から各2点ずつ質問をした。

問 竹本議員

大型二種を持ってでも緑ナンバーの大型バスには乗れない。バス協会の指定する講習を受けなければならぬが計画はあるのか。

答 荒木企画振興課長

受講予定となっており、運輸局にも指導していた。

○仁淀川町町民バス・仁淀川町スクールバスの指定管理者の指定について

・討論  
《反対》若藤議員

審議委員会は、プレゼンの内容だけで一番重要な安全性については一切触れていない。17年間の実績は提示し、17年間の実績は提示し、レベルが違う。今回の決定

には安全性も全く確保されていないため反対をする。

《賛成》大野(直)議員

以前の会社は独占しているといっても過言ではない。執行部も1年間のお試し期間を設け、心配な点はあと思うが賛成する。

《反対》片岡議員

3社の中の運転手がトンネル内で点灯せずに車を走らせており、危機管理ができていない。安全管理が徹底できていないため反対する。

《賛成》岡田議員

この3年間で(株)仁淀川マネジメントサービスは2回の人身事故を起こしている。金額についても前回も40万円安かった。2回審議会をやり、結果が今の会社を選んだ。この提案については賛成である。

《反対》藤崎議員

安全性の理由の具体性が分かりにくいため納得できない。実績をもっと重視すべきだ。人を乗せて走ることと、物を載せて走ることとは同等に比較はできないため反対する。

《採決》

賛成少数で否決された。

## 町民の皆さんと議会議員との意見交換会 池川

**開催日時** 2025(令和7)年11月27日 19:30から概ね1時間半

**開催場所** 池川コミュニティセンター4階ホール

**出席者** 議会議員10人全員、地域住民26人

**議 題** 議会運営や議会に関する意見交換および地域課題に関する意見交換

本意見交換会は、令和2年に制定された議会基本条例3条に基づいて行われたもので、今回で3回目となる。

### 重要な発言の要点

#### 小中一貫校の再考に関する議論

小中一貫校の再考では、町民からは賛同の声が多かったにもかかわらず、議会では地域活性化や防災面、複式学級の教育格差などを理由に否決された。議員全員の意見を聞きたい。

反対派議員は、住民全体の意見を重視し、複式学級にもメリットがあると主張、賛成派議員は「子どもファースト」の観点から集団生活や教育環境の改善を訴えた。

地域活性化については、移住者や共働き家庭への学童の人数制限、体育館の雨漏り、交通手段の改善など、具体的課題が住民から提起され、議員はこれらの要望を執行部へ伝達し、対策を求めると答えた。

議会改革では開会時間や、開催時期の見直し、議員定数・報酬の再検討、選挙の在り方や時期の統一などが議論された。

町民からの意見は今後の議会運営に活用され、執行部への要望や質問の結果はネット配信や議会だよりで公表される。

副議長から、今後も意見交換会を継続していく意向が示され閉会した。



交換会の様子

## 仁淀川町議会 映像配信のご案内

### ●アクセス方法

スマートフォンなどでの視聴  
「議会だより」の表紙のQR  
コードから  
パソコンで視聴

仁淀川町のホームページから

### ●ライブ(実況生中継)定例会・臨時会の実況中継

議会開催当日(実際の議会進行から2～5分遅れ)見逃した場合や再度視聴する場合は、VOD配信をご利用ください。

### ●VOD(録画)配信

議会の開催後1週間～10日後(平成元年12月議会以後のもの、おおむね4年間)。



## 議 会 日 記

令和7年9月

6日 大崎地区敬老会、下名野川・長坂・二ノ

滝合同敬老会

13日 池川中体育祭、森地区敬老会

16日～18日 定例会、全員協議会

18日 議会だより編集委員会

町道安居溪谷線入札等に関する調査特別

委員会

20日 寺村地区敬老会

21日 池川小大運動会

25日 四国四県町村長・議長大会

28日 正ノ石地区敬老会

29日 町道安居溪谷線入札等に関する調査特別

委員会

30日 国道33号整備促進期成同盟会高知県協議

会四国地方整備局要望活動

10月

6日 なくせじん肺全国キャラバン訪問

町道安居溪谷線入札等に関する調査特別

委員会

7日 議会改革調査特別委員会

議会だより編集委員会

8日 四国地区町村議会議長会研修会

10日 土佐・長岡郡・吾川郡町村議会全議員研

修会

13日 仁淀中体育祭

15日 町道安居溪谷線入札等に関する調査特別

委員会

11月

17日 池川地区戦没者追悼式

18日 別府小・ふたば保育所合同運動会

県選出国会議員と町村長・町村議会議長

との意見交換会

20日 仁淀地区秋季戦没者追悼式

23日 町道安居溪谷線入札等に関する調査特別

委員会

25日 越知町コスモスまつり

26日 合併20周年記念式典・祝賀会

28日 吾川郡町村議会議長会

31日 トップセミナー

1日 令和7年度高知県戦没者追悼式

5日 町道安居溪谷線入札等に関する調査特別

委員会

6日 議会だより編集委員会

7日 臨時議会、全員協議会、議会運営委員会

11日 県選出国会議員と町村議会議長との意見

交換会

12日 第69回町村議会議長全国大会

14日 町道安居溪谷線入札等に関する調査特別

委員会

25日 産業建設常任委員会

町道安居溪谷線入札等に関する調査特別

委員会

議会運営委員会

27日 仁淀川町議会意見交換会

28日 仁淀川町健康福祉大会

29日 名野川地区敬老会

## 議長（ロメモ）

## 「小中一貫校について」

少子化が進むにつれ、今後、ますます複式学級が多くなると思われます。

中学校の統合と小中一貫校化の検討をすることが、子どもたちの未来への責任だと私は思います。

統合は、生徒数を増やし、専門的な教育機会を充実させる最も最良の方法だと思います。

しかし、地域の宝である学校の存在が薄れることや、通学の安全といった不安も痛いほど理解できます。

今後においても地域や保護者の声を丁寧に聞き、教育の充実と、地域とのつながりができるような取り組みの推進も大切ではないでしょうか。

一日も早く小中一貫校を進めていくことが、子どもたちの未来のためにも大切だと思います。

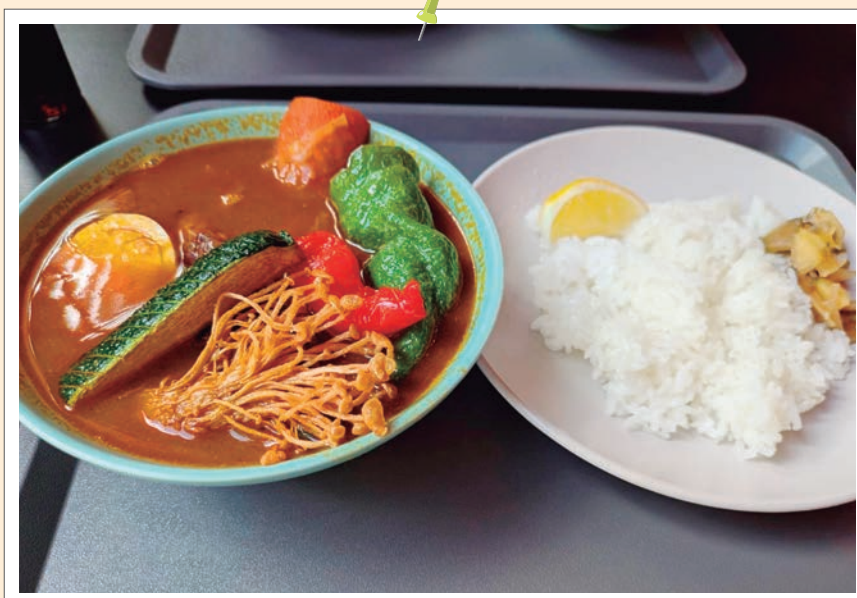
議長 大野 弘

話題



町内の商店を巡ろう！

## 「スープカレー・トランス」



- ・営業時間 昼 9:00～17:00 ※16:00 (ラストオーダー)  
串カツ営業毎週木曜～土曜日17:30～21:00 ※20:00 (ラストオーダー)  
※要予約
- ・定休日 毎週水曜日(変更の場合あり)
- ・住所 高知県吾川郡仁淀川町大崎474-12 (TEL 070-8515-4504)

## 店長からのコメント

京都和食料理人のだしを生かした本格スープカレー専門店。夜は、串カツを中心に一品料理からお酒を楽しんでいただけます。

## 編集後記

4年間の感謝を込めて

このたび、一期4年間の議員任期を終えるにあたり、議会だより編集委員長という大役を務めさせていただきました。

議会だよりは、町民の皆さんに定例議会の内容や委員会の活動報告を分かりやすくお伝えし、町政への関心を深めていただくための大切な橋渡し役です。

この4年間、「気軽に手に取ってもらえる紙面」を目指し、文字数を減らし、写真を増やすなど、読みやすさの工夫に試行錯誤を重ねてきました。

まだまだ至らぬ点、改良の余地が多くあると存じます。今後もより良い紙面作りのため、皆さんの率直なご意見・ご感想をお寄せいただけると幸いです。

4年間、本当にありがとうございました。

(藤原 大 記)

議長	大野 弘	副議長	藤堂 賢太郎	委員	藤原 大
	竹本 文直		大野 直孝		藤崎 源彦